

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2016年 冬号 vol.12



▲産科病棟と小児科病棟は統合し、3階西病棟（女性と子どもの病棟）になりました。

特集 「女性と子どもの病棟」が目指すところ

がん診療コーナー 産婦人科のがん
お知らせ 化学療法センターを紹介します ほか
もっと知りたい アレルギー科
連携医の紹介 いたう腎クリニック
とね眼科クリニック

2016.2.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

「女性と子ども」の病棟 が目指すところ

小児科部長 河野 祥二かわの しょうじ

妊娠出産から子育てまで

少子高齢化の波は下関にも大きく押し寄せ、市内で出産される人は減っています。市内で出された出生届は、昭和55（1980）年には4000人であったのが、平成25（2013）年には2000人を切ってしまいました。分娩数が減り子ども数が減り、当院産科病棟・小児科病棟に入院する患者さんの数も漸減してきました。

このままでは縮小するばかりです。そこで、病院経営陣から産科・小児科病棟合併の指示が出され、平成27年4月に新しく赴任した田中雅夫院長の号令の下、小児科部長の河野をリーダーとする合併プロジェクトチームが立ち上がりました。この時に、私がまず考えた事は、「ピンチをチャンスに変える」「新しい病棟

を作るという前向きな姿勢」「従来の枠にとらわれない」という事です。新しい病棟は院長から「女性と子ども」の病棟」と命名され、コンセプトは「患者さんを中心として家族単位で療養できる、安全で快適な病棟」です。

平成27年12月1日から、合併した体制になっていますが、改築工事は平成28年度になってからです。今は従来の部屋のまま、運用方法を変えながら動き始めたばかりです。まだ、あまり日は経っていませんが、きつと上手いいきます。スタッフの動きや表情を見て、私なりに前向きな手ごたえを感じられるからです。困難な場面に遭遇して、転んだり脱輪したりしながら、安定走行できるには2年〜3年かかるかと思っています。

国も少子化対策に本気で取り組む

施策をようやく打ち出してきました。

下関市においても、平成27年3月より子ども未来部の中に子育て世代包括支援センター（名称：下関市妊娠・子育てサポートセンター）を置き、妊娠・出産・子育て期にわたり、継続的に支援できる体制作りをしています。私たちが「女性と子ども」の病棟」を国の少子化対策にマッチした方針で運用することができれば存在価値は十分にあるはずですが、ただし、妊娠期から子育てまでの連続した支援システムを急性期病棟の病棟の中に融合させることは新しい試みです。様々な紆余曲折が予想されます。それでも、「女性と子ども」の病棟」の理想形を目指していると考えています。ご迷惑をおかけする事も多いと思いますが、どうか皆様、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「女性と子どもの病棟」の運用方針

病棟師長 置永 洋子おきなが ひろこ

病床数：32床（暫定） 入院対象：女性（妊産婦を含む）と子ども（新生児～中学3年生まで）
原則として、旧小児科病棟側は感染症患者、旧産科病棟側に妊産婦、非感染症患者という区域に分け、妊産婦が入院する区域への男児の入院は小学校3年生までとします。

- ① 母児同室として、産婦が安心して子どもと愛着形成ができる
 - ② 入院した子どもや女性が家族と一緒に過ごすことで安心して療養できる
 - ③ 妊娠期から子育てまでの連続した支援システムを導入する
- ①～③を実現できる病棟を目指します。



予防接種 & 乳幼児健診スケジュールの1例



ワクチンをきちんと接種して、子どもを病気から守りましょう。
 はじめてのワクチンは生後2カ月になったら開始です。☆印のときに受けましょう。
 子どもの予防接種に関しては、かかりつけ医で相談して、接種計画を作りましょう！

年齢													1歳	1歳半	2歳	3歳	3歳半	4歳	5歳	年長組	
ワクチン名/月齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	18	24	36	42	48	60	72	
ヒブ 定期		★	★	★									★								
肺炎球菌 定期		★	★	★									★								
四種混合 定期			★	★	★									★							
BCG 定期					★																
B型肝炎(※) 任意		★	★					★													
ロタウイルス 任意		★	★	(★)																	
MR(麻疹・風疹混合) 定期												★									★
水痘(みずぼうそう) 定期												★		★							
おたふくかぜ 任意												★									★
日本脳炎 定期																★	★		★		
インフルエンザ 任意	生後6か月から接種できます。ご希望の方はご相談ください。																				
乳幼児健診 公費	1 か月 健診		3 〜 4 か月 健診				7 か月 健診									1 歳 半 健診			3 歳 半 健診		

- ロタウイルスワクチンの初回接種は、生後14週6日までにいきます。2回接種と3回接種があります。効果は同じです。
- MR、水痘、おたふくかぜワクチンは、1歳になったら早く受けましょう。水痘の2回目は3歳までに受けましょう。
- ヒブ、肺炎球菌ワクチンの追加接種はMRワクチンの4週間後に忘れずに受けましょう。
- MRワクチンのⅡ期は年長組で受けます。おたふくかぜワクチンの2回目も一緒に受けると良いでしょう。
- 同時接種は安全に行われています。通院回数が少なく、子どもへの負担は軽くなります。
- 定期接種は決められた年齢で受ければ無料で、事故があった場合も国からの補償があります。任意接種は有料です。健診も指定された時期に受ければ、公費(無料)です。

(※) B型肝炎ワクチンは、平成28年10月から定期接種になる予定です。



▲「予防接種ちゃんと受けたよ！」河野医師と。

●子宮頸がん●●●●

子宮の入口(子宮頸部)にできるがんです。日本では、産婦人科領域で最も多いがんです。若年者に増加傾向があり、発癌にはウイルス(ヒトパピローマウイルス)の関与が示唆されています。症状の典型は不正性器出血で、特に性交時の出血が要注意です。余程進行しない限り痛みを訴えることは稀です。最近では20歳以上に子宮がん検診が勧められ、普及してきていますので無症状で初期がんのうちに発見される例が多くなっています。現在、子宮頸がんの半数は一番初期の上皮内がん、いわゆる0期で発見されています。

●子宮体がん●●●●

子宮の奥(子宮体部)にできるがんで、日本では子宮頸がんに次いで多いがんです。最近では増加傾向にあります。2つのタイプが存在し、1つのタイプの発癌には女性ホルモンであるエストロゲンが関与しています。閉経後に多いとされていますが、閉経前にも発生

します。お産をしたことのない人、肥満、高血圧、糖尿病などの人に多いとされ、乳がんの既往のある方にも高率に発生します。症状は不正性器出血が典型的です。血性帯下、腹痛のこともあります。通常行われるいわゆる内診では直接みえませんので、子宮体部細胞診や経腔超音波検査が、発見のきっかけになります。子宮体がんが疑われた場合には、子宮内より組織を採取し顕微鏡検査で診断します。

●卵巣がん●●●●

卵巣腫瘍は、病理組織検査によって良性、境界悪性(中間群)、悪性の3つに分けられます。卵巣がんは、3番目の発生率ですが、予後は最も不良です。日本における卵巣がん罹患数は毎年約9,000人余りで、2011年には4,705人が卵巣がん死亡しています。近年さらに死亡数が増加傾向です。卵巣は腹腔内臓器であるため、腫瘍が発生しても症状に乏しく、また適切な健診法がなく、卵巣がんの約半数が進行癌で

発見されます。症状が出にくいので、かなり大きな腫瘍となって、あるいは腹水がたまって、お腹が出てきたとの訴えで受診されることが多いです。不正性器出血や帯下などの婦人科的な症状は稀です。無症状で、内科的な健診や他科の画像検査で腹部腫瘍が発見されることもあります。まず、内診とともに超音波検査が重要です。腹部に腫瘍が発見されるとCT、MRIなどの検査を行い、腫瘍マーカーを測定します。卵巣の悪性腫瘍が疑われる時は、他臓器からの転移のこともありますので、胃、腸、肝臓、膵臓、乳腺など他臓器の検査が必要です。卵巣がんか否かは、顕微鏡検査で決まりますので、原則として手術で腫瘍を摘出してから悪性か否かを最終診断します。

産婦人科のがんについて述べましたが、内診、子宮頸部、体部細胞診及び経腔超音波検査を含んだ健康診断が更に普及することが肝要です。

<副院長(産婦人科)前田 博敬>

【連載 エッセイ】

中央監視室

安全と安心のエネルギー供給を

中央監視室は現在、有資格者12名で24時間(夜間、休日は2名)体制で院内のエネルギーの供給を監視しております。場所はどこにありますか?とよく聞かれます。本館とは別の独立した煙突の有る建物で、内部はボイラー等機械が詰まっております。夏場は大変暑くなります。中央監視員は「思いやりの心をもって有言実行」をモットーとし、患者さまへの安心、適切な環境作りで寄与することを目的として日々業務を行っております。

練と勉強は欠かせません。市民病院は、現在地で診療を開始してから28年が経ち、機器が故障しても、古い設備の部品が無く、修理に時間が掛かってしまうことがあります。また、これからの設備は省エネが叫ばれており、当院で1年間使用するエネルギーをお金に換算するものすごい金額になります! 当院で使用する電気の2割は昼間、自家発電で賄っているのをご存じですか? 新館も増設され電気の需要は益々増えて参りました。これからも省エネに一層ご協力お願いいたします。 当院で、安全で優しい医療が受けられますように中央監視員一同縁の下の力持ちのように陰ながら支えて参ります。

中央監視室の仕事は安心して診療が出来ますように、院内にエネルギーを安全に供給することです。設備は多岐に渡り、火災・電気・空調・給排水・ボイラー・蒸気・温水・冷水・エレベータ等多くの機器のメンテナンスを行っております。また、故障時には即対応し、速やかに応急処置が出来る様に日々の訓



中央監視室 勝井 安男
院内の設備は、私たちがしっかり守ります!

化学療法センターを紹介します。

快適な治療環境をめざして がん化学療法看護認定看護師 うえの たえこ 上野 妙子

平成27年11月、新館1階に化学療法センターがリニューアルオープンしました。化学療法センターでは、さまざまながんの抗がん剤治療と、関節リウマチや炎症性腸疾患の生物学的製剤の点滴治療を行っています。患者さまの増加に伴い、従来の6床から12床へ増床しました。テレビ付きのリクライニングチェアとベッドを設置し、その日の気分でお好みの方を選んでもらうことができます。ウィッグや各種がんに関するパンフレット、新聞、小説、雑誌などを準備しているので、治療中に読むこともできます。トイレは点滴をしながらでも入りやすいように、広いスペースを確保しました。

患者さまがより快適に治療を受けていただける環境作りに配慮しています。



がん薬物療法におけるチーム医療

スタッフは、曜日別の専任医師と、がん薬物療法認定薬剤師、がん化学療法看護認定看護師1名を含む専任看護師3名で運営しています。毎朝のショートミーティングでは、その日に行う治療の情報共有を行い、毎週水曜日の朝は、外来化学療法に携わる多職種で外来化学療法カンファレンスを実施し、治療や副作用についてディスカッションを行っています。治療中にアレルギー症状等で急変した場合でも迅速に対応できるよう、専任医師、救急医師、化学療法センター・救急センター看護師でACLS(二次救命処置)の訓練も実施しています。患者さまは、安全な環境で安心して治療を受けることができます。

先日、北海道テレビの「医TV ~わたしたちの医療」医療のチカラ がん治療におけるチーム医療の実践」という番組で、当院のがん薬物療法におけるチーム医療が取り上げられました。その番組は、1月16日に北海道で放送され、今後は中外製薬のホームページで見ることができます。「中外製薬 がん情報ガイド」で検索してみてください。



クリスマス会を開催しました。

昨年12月22日、3階西病棟でクリスマス会を行いました。

入院中の患者さまを招待して、医師によるピアノ演奏や、看護師のハンドベル演奏、池内さんによる手品、大下さん親子によるコンサートなど、盛りだくさんのイベント内容でした。

サンタクロースからのプレゼントに可愛い笑顔を見せてくれた患者さまから、スタッフ一同元気をもらうことができました。



当院で働く職員を紹介します。

もっと
知りたい。

アレルギー科



医師 ながた よし たか 永田 良隆

アレルギー疾患とは

アレルギー疾患には、スギ花粉症、アレルギー性鼻炎及び気管支喘息、アトピー性皮膚炎、慢性じんま疹等があります。現代では、国民の3人に1人が何らかのアレルギー疾患で悩んでいると言われます。私が医師になった40年〜50年前には、これらの病気は少なかったのです。アレルギー学の立場では、主に原因が何かを調べ、原因が分かれば、それらの除去対策を行います。それでも症状が持続する場合や、原因不明の

場合はアレルギーを抑える薬物療法を行います。

しかし、アレルギー疾患は慢性で治りにくい傾向があり、それらの治療でも患者さんが満足する効果が得られないのが実情です。そこで私は、近年個人のアレルギー防衛力が低下したことが最も大きな要因と考え、栄養学的・東洋医学的な立場を応用して、アレルギー防衛力を高めて患者さんが納得できる解決策を工夫しています。

特に、食生活が洋風化したこと

が大きなき要因と考えています。消化機能が未発達な乳幼児期から高タンパク・高カロリーな食事を毎日続けると、それらを十分に処理できず余分なお荷物が体内に大量に発生します。このお荷物が、皮膚へ排出されると乳幼児湿疹やアトピー性皮膚炎が、呼吸器系に排出されると鼻炎や慢性気管支炎等が出現します。

毎日摂取する食事が大きく関与していると考えると、いくら薬物療法を駆使してもその効果は少なく、患者さんの悩みは続きます。アレルギー疾患は大きくなると治ると言われますが、10歳前後で体力がつき、運動量も多くなると、洋風化した食事でも処理できるようになり、お荷



▲最近ではラジオの音楽番組や読書を楽しむ余裕ができたと話す永田医師。＊16歳以上の方はアレルギー科受診に主治医からの紹介状が必要です。

物がなくなるからでしょう。従って、

治療中は食事を和食中心に、植物油を極力控え、健康管理を徹底することが大切です。親が主治医になり、これらを実践すると早期に解決できるので。もちろん症状が存続する間、一般的な薬物療法も必要です。

現代は、子どもから大人まで、いわば過食の時代です。その結果、子どもはアレルギー疾患が増え、大人は生活習慣病が多発しています。子どもの治療食を実践した両親も生活習慣病の異常値が改善し、不健康な悩みも解消することがあります。今後も、患者さん側が主体的に病気の治療と予防ができるようにお手伝いしたいと思っています。

認定看護師
だより

Vol.10



緩和ケア
認定看護師

ながくら ひろえ
長倉 博絵

昨年11月に新館が開設され、現在は化学療法センター、透析センターが稼働しています。3・4階は緩和ケア病棟が開設予定で、現在は開設に向けて準備の最中です。

一般に緩和ケア病棟とは、がんによる痛みやその他の苦痛を緩和することを目的にしています。疾患の治療ということから、私たち看護師の力が存分に発揮できる場所だと考えています。一般病棟とは違い、入院には基準や審査があり、いつでもどんなにたでも入院していただけるとは限りません。とはいえ、個室が多く、静かで穏やかな環境を提供できると思えます。入院される患者・家族の方々が、笑顔で穏やかに過ごせる環境が作れるようスタッフ一同取り組んでいます。



地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
当院と連携医療機関とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域医療連携室
電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861



いとう腎クリニック 院長 伊藤 真一 先生

下関市立市民病院の先生方及び地域医療連携室の皆様方には、いつも大変お世話になっております。勤務医時代より血液透析に携わり、透析患者の心血管系疾患の合併率の高さを目の当たりにしていたことから、腎臓・循環器内科の視点から透析管理を行いたいとの思いが強まり、平成20年より現当院名誉院長の新井亨先生（昭和48年まで下関市立中央病院に勤務されていました）より、新井医院の事業継承させて頂き、平成22年10月の新棟完成を機に医院の名称を医療法人藤寿会 いとう腎クリニックに変更しました。当院では特に高齢透析患者のリハビリに力を入れており、理学療法士が3名勤務しています。当院に転院前はほぼ寝たきりであった患者さんで、リハビリ開始より歩行可能となり外来通院されている方もおり、今後も積極的に行っていく予定です。

また当法人のもう一つの医療機関である伊藤内科医院も現在新築工事中であり、新たにCT、MRIを設置します。7月の完成時には放射線科医師を増員し、新体制で診療を行う予定です。それぞれの施設の特徴を生かし、誠実に診療し経験を積んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

〒751-0839 下関市山の田本町6-6 TEL：083-253-0211 <内、腎臓内、泌尿器、循環器内、リハビリテーション> 月～土：9:00～12:00、14:00～17:00（木・土午前のみ、火15:00まで）

ホームページ <http://www.tojukai.com/>

とね眼科クリニック 院長 登根 慎治郎 先生

下関市立市民病院の先生方、地域医療連携室並びに関係者の皆様方には、いつも大変お世話になっております。

私は平成23年4月から平成27年8月末まで下関市立市民病院に眼科医長として約4年半勤めさせて頂きました。中学以来、下関を離れておりましたので、日々の診療の中で患者さんの話される方言に懐かしさを覚え、地元の方々の温かさ、故郷の有難さを感じておりました。縁あって、平成27年9月に生まれ育った彦島で、父親の登根歯科医院の3軒隣に「とね眼科クリニック」を新規開業致しました。

当院は彦島の入り口に位置し関彦橋を渡ってすぐの左手にあります。近隣には彦島支所や図書館、保健センター、児童館などの公共施設や多くの医療施設の集まった地区です。診療内容としては、眼科一般治療から日帰り手術（白内障・緑内障・網膜硝子体）、レーザー治療などを行っております。

小児～高齢者まで幅広い年齢層に対応し、下関市立市民病院の諸先生方と連携をとらせて頂きながら、専門的治療に努めてまいりたいと思っております。丁寧な対応で患者さん一人ひとりの声に耳を傾け、治療に専念し、重ねて医療レベルの向上にスタッフ一同、努力を致す所存でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

〒750-0075 下関市彦島江の浦町1-7-8 TEL：083-266-2000 <眼科>
月～金：9:00～12:30、14:00～17:30（火・木：午後は手術）、土：9:00～12:30



外来診療のご案内

2016年2月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		具嶋 正樹/吉田 佳代	山口 敢	具嶋 正樹	山口 敢	吉田 佳代
内科・呼吸器内科						花香 哲也(※)
内科・循環器内科		金子 武生	金子 武生	森山 祥平	辛島 詠士	辛島 詠士
禁煙外来(午前中・予約制)						金子 武生
内科・腎臓内科			坂井 尚二 乙咩 崇臣	吉水 秋子	坂井 尚二 午前:浦江 憲吾/午後:吉村 潤子(※)	前田 大登(※)
内科・血液内科			久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科		真弓 武仁 大田 俊一郎		真弓 武仁 大田 俊一郎	中山 剛志(※)	大田 俊一郎
内科 渡航外来(予約制)		原田 由紀子(午前)				
内科・胆膵外来		原田 由紀子(午後)				
糖尿病内科		五十嵐 久人		五十嵐 久人		
神経内科(午前中・予約制)						江口 透
精神科				本田 真也(※)		
消化管内視鏡		山口 敢	具嶋 正樹/吉田 佳代	山口 敢	具嶋 正樹/吉田 佳代	具嶋 正樹
胃透視			具嶋 正樹	吉田 佳代		山口 敢
心臓血管外科			上野 安孝/木村 聡		上野 安孝/栗栖 和宏	上野 安孝(予約のみ)
外科	午前	篠原 正博 宮竹 英志	石光 寿幸 中原 千尋	篠原 正博 宮竹 英志	鈴木 宏往	石光 寿幸 吉田 順一/大谷 和広
	午後	院長外来 (院外紹介)	乳腺外来/石光 寿幸	ストーマ外来(第2第4) 篠原 正博(初診のみ)	ストーマ外来(第2第4) 篠原 正博	乳腺外来/石光 寿幸
呼吸器・感染症外来 (呼吸器外科)		吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター (呼吸器外科)			井上 政昭		井上 政昭 名部 裕介	
小児外科		大森 淳子(院外紹介)		大森 淳子 九大派遣医師		
脳神経外科		中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治		中村 隆治/尾中 貞夫
整形外科	再診	白澤 建藏/千住 隆博	渡邊 哲也	山下 彰久/矢野 良平	原田 岳/橋川 和弘	上原 慎平
	新患	橋川 和弘	千住 隆博	白澤 建藏(紹介状必要) 原田 岳(紹介状必要) 上原 慎平	山下 彰久 矢野 良平	渡邊 哲也
泌尿科	一診(初診)	吉弘 悟	山内 雅文	吉弘 悟	山内 雅文	吉弘 悟
	二診(予約のみ)	山内 雅文	吉弘 悟	山内 雅文	吉弘 悟	山内 雅文
眼科(午前中)		石村 良嗣(※)			岩本 菜奈子(※)	布 佳久(※)
放射線診断科			箕田 俊文			
放射線治療科		有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前 予約制	河野 祥二/坂田 恭史	河原 典子(※)	坂田 恭史	河原 典子(※)	東 良紘(※)/坂田 恭史
	アレルギー 心身症	永田 良隆(再診)	永田 良隆(新患)	河野 祥二		永田 良隆(再診)
	午後 予約制		河野 祥二/河原 典子(※)		河原 典子(※)/坂田 恭史	永田 良隆 河野 祥二
	慢性疾患 心身症 神経			河野 祥二/坂田 恭史		永田 良隆 河野 祥二
産婦人科	午前 一診	前田 博敬	川崎 憲欣	前田 博敬	前田 博敬	川崎 憲欣
	二診	川崎 憲欣(第2・第4のみ)		川崎 憲欣	大川 彦宏(※)	
	午後	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)
疼痛外来 ペインクリニック内科		藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹
皮膚科		内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科		平 俊明 西山 和郎	平 俊明/西山 和郎 午後:手術	平 俊明/西山 和郎 午後:手術	平 俊明 西山 和郎	平 俊明/西山 和郎 午後:手術
歯科・歯科口腔外科		入学 陽一 坂口 修(※)第1・第3 河野 通直(※)第2・第4	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一 高橋 理(※)第3以外 笹菜 正明(※)第3のみ	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一 河野 通直(※)第1 宮本 郁也(※)第2・第4 坂口 修(※)第3
緩和ケア外来						今村 秀(※)/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)		中原 千尋/奥村 幹夫	中原 千尋/奥村 幹夫	中原 千尋/奥村 幹夫	中原 千尋/奥村 幹夫	中原 千尋/奥村 幹夫

◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください) ◆緩和ケア外来 第2金曜日休診
◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)



地方独立行政法人
下関市立市民病院
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号
TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838
ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>
地域医療連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力お願いします。